

## ～こんなアクティビティはありますか～

第Ⅲ章では、アクティビティ(活動)の事例を掲載しました。

第Ⅲ章－①では、左頁の4コママンガでアクティビティの流れを紹介し、右頁に「事前の準備」「気づいてほしい人権のポイント」「応用・発展の事例」などを掲載しています。

また、第Ⅲ章－②では、左頁にコピーして使用できるワークシートを、右頁には、アクティビティの「展開の仕方」「気づいてほしい人権のポイント」さらに活用できる「応用・発展」などの資料を掲載しています。

なお、＜気づいてほしい人権のポイント＞の(P○－○)は、第Ⅱ章の活動事例、学習事例、配慮事項と関連しています。

ぜひご活用ください。

### 第Ⅲ章の構成

#### 第Ⅲ章－①

どっちを選ぶでショー……………	14
見つけてぴったり……………	16
ならべてコピー……………	18
わたしの大切な○○……………	20
「ちびまる子ちゃん」で……………	22
コミュニケーションふりかえりグラフ……………	24

#### 第Ⅲ章－②

絵を使って考えてみましょう……………	26
身近なものから考えてみましょう……………	28
人権ポスターで考えてみましょう……………	30
マークを考えてみましょう……………	32
人権標語を作ってみましょう……………	34

# どっちを選ぶでショー

15分～20分

## こんな場面で使えます

※各種学級・講座の導入の時間やグループでの活動をする際、初めて会った人同士がコミュニケーションをとることにより、雰囲気をやかにすることができます。

### 展開の仕方は？



○ファシリテーターは、対照的な言葉を2つ組み合わせたものを記入したワークシートを用意し、各グループに配付します。



○2つのうち好きな方を選びます。そのとき、なぜそれを選んだのか理由も考えておきます。



○グループ内でじゃんけんをし、勝った順番に簡単な自己紹介(所属や名前など)をした後、選んだものを紹介します。  
○項目の中の1つについて選んだ理由を言います。  
○聴く人は、集中して相手の紹介を聴きます。



○アクティビティの感想などを発表します。  
○ファシリテーターは、今日の中心となる活動について説明します。

事前の準備は？

- 対照的な言葉を2つ組み合わせたものを記入したワークシート  
(掲示資料等使用することも可)
- ストップウォッチ
- 筆記用具



ワークシート例1

どっちを選ぶでショー

- |          |       |
|----------|-------|
| 1 Aゲーム   | B 読書  |
| 2 Aカブトムシ | Bクワガタ |
| 3 A海     | B山    |
| 4 Aすし    | Bステーキ |
| 5 A夏     | B冬    |

〈気づいてほしい人権のポイント〉



- 好みや考え方を伝え合う活動や相手の話を傾聴する活動をとおし、他者理解やコミュニケーションを促進し、良い人間関係を築くことができるようにすることがねらいです。(P9-1)
- 人を思いやる心や、個性を認め合い一人一人の考え方や感じ方を尊重することが大切です。(P9-10)

〈応用・発展〉

- 言葉の組み合わせを人権の視点で選んだ二者択一《例(生まれ変わるのなら)男性-女性など》を付け加えることにより、人権問題について考えることができます。
- 参加者の対象年齢によっては、言葉の組み合わせを下記のような例にして使用することもできます。

ワークシート例2

どっちを選ぶでショー

所属( )名前( )

1 次のNo①～⑥について、自分にあてはまるのはAまたはBどちらでしょう？どちらかを選んで○で、囲んでください。

- |                |        |             |
|----------------|--------|-------------|
| ①好きな季節は        | A冬     | B夏          |
| ②目玉焼きにかけるのは    | Aしょうゆ  | Bソース        |
| ③家電を買う際、値引き交渉を | Aする    | Bしない        |
| ④リタイア後の生活は     | A楽しみ   | B不安         |
| ⑤血液型による性格を     | A信じる   | B信じない       |
| ⑥アフター5の過ごし方    | A会社で残業 | B帰宅して家事・子育て |



自分とまったく同じ  
選び方をした人って、  
意外に少ないもの  
なんだなあ！



2 No.①～⑥から一つを選んで、グループのメンバーにコメントをひとこと、どうぞ！

# 見つけてぴったり 10分～15分

## こんな場面で使えます

ワークショップの導入時に、雰囲気をもたせるアイスブレイキングをしながら、グループ分けをすることができます。

### 展開の仕方は？



- ファシリテーターは、絵はがきやポスターなどを切って手製のジグソーパズルを作ります。(グループ数)
- 場合によっては箱や袋に入れ、参加者の目にはふれないようにしておきます。



- 用意した箱や袋の中から、1つのピースを選びます。



- 自分と同じ種類のピースを持つ人を探し、参加者みんなでカードを完成させます。
- 同じ種類のピースを持つ参加者が1つのグループとなります。
- ファシリテーターは、簡単に数人にインタビューします。



- グループごとに、自己紹介をします。
- 今日の中心となる活動について役割分担などを話し合います。

事前の準備は？

- 絵はがきやポスターなどを切って作ったパズル
- 中身が見えないようにするための袋や箱



※手製のパズル例



◦ 〈気づいてほしい人権のポイント〉 ◦

- 参加者同士が言葉をかけ合うことなどをおして、思いやりの大切さに気づかせることがねらいです。 (P9-1)
- グループ分けの過程で、参加者同士の交流やコミュニケーションが活発になり、雰囲気や和ませながら協調性を高める仲間づくりができます。 (P9-1)
- グループ分けの後、気がついたことや感想などを数人にインタビューすることをおして、思いやりの大切さを実感することができます。 (P9-15)

◦ 〈応用・発展〉 ◦

- パズルに使用する絵はがきやポスターの内容の選び方によって、グループ名に意味をもたせることができます。
- カレーライスなど調理の場合には、絵はがきやポスターの代わりにジャガイモやにんじんを切ったものをピースとして使うこともできます。
- 参加人数や対象によっては完成品を掲示しておきます。



# ならべてコピー

10分～15分

こんな場面で使えます

☞ 創作や調理など、グループでの活動を始める際、互いに尊重し、協力し合うことの大切さを感じることが出来ます。

## 展開の仕方は？



- ファシリテーターは、あらかじめ用意したサンプル(はさみ、ホチキスなど、中心となる活動で使う用具)を参加者から見えない所に置きます。
- ファシリテーターは、各班にサンプルと同じ用具を配ります。



- 合図とともに各班のメンバーが交代でサンプルを見に行きます。(1回に行く人は各班1人)
- 見てきたメンバーは、班に戻り、用具に触れずに用具の数、置く位置、向きなどについて、言葉やジェスチャーでほかのメンバーに伝えます。



- 他のメンバーは、説明の言葉やジェスチャーを頼りに画用紙の上に用具を並べます。
- これを繰り返し、サンプルと同じものを再現します。(1人当たりの時間を1～2分程度に制限してもよい。)



- 時間がきたら活動をやめ、サンプルと自分たちが再現したものとを見比べます。
- 伝え方や聞き方など、コミュニケーションについて気づいたことや感じたことを話し合います。

事前の準備は？

例1

- 画用紙など用具を並べる用紙
- 資料 付箋 サインペンなど
  - ・主となる活動で使う用具なら、何でも使えます。
  - ・各グループのテーブルに配付します。
- もとになるサンプル
  - ・参加者から見えない場所に、さまざまな用具を並べておきます。



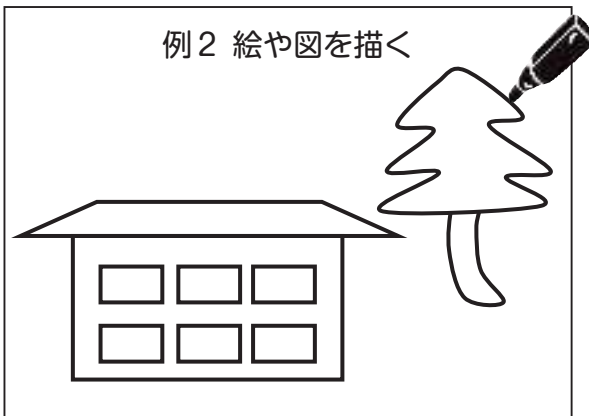
◦ 〈気づいてほしい人権のポイント〉 ◦

- 互いに協力し合って決められた課題を解決する活動をとおして、協調性の大切さを感じることがねらいです。 (P9-9)
- 課題解決の過程で、グループ内のコミュニケーションが活発になり、交流が深まるとともに、信頼関係や協調性が生まれてくることも期待できます。 (P9-1)
- コミュニケーションの原点は相手の話を聞くことであり、話し手だけではなく聞き手の姿勢や態度が大切です。 (P10-1)

◦ 〈応用・発展〉 ◦

- はさみやホチキス等の用具だけではなく調理で使う食材を利用したり、もとになる絵や図を描いたりすることもできます。(例2)
- ジェスチャーを使わずに、言葉だけで説明することにより、語調や表情・動作など、言葉以外によるコミュニケーションの要素を意識づけることもできます。

例2 絵や図を描く



**わたしの大切な○○**  
20分～30分

こんな場面で使えます

※家庭教育学級、子育て講座などで、子どもの人権について考える際、個性を尊重することの大切さに気づかせることにつながります。

展開の仕方は？



- 並べられたせんべいから、1つ選び、裏面の番号を確かめます。
- 観察などの指示はせずに、ファシリテーターが回収し、アトランダムに並べ直します。
- 初めに手にしたせんべいを探して1つ選びます。



- 探し当てられなかった理由(当てられた理由)を発表します。
- ファシリテーターが同じことを繰り返すことを伝えた上で、手にしたせんべいに名前(わたしの大切な○○さん)をつけ、よく観察します。



- ファシリテーターが回収し、アトランダムに並べ直します。  
※例2の進め方もできます。
- 名前をつけ観察した自分のせんべいを探して1つ選びます。



- 探し当てられなかった理由(当てられた理由)や感想などを発表します。
- ファシリテーターは、今日を中心とする子どもの人権の学習について説明します。



事前の準備は？

- 豆せんべい
  - ・参加者の人数より多く用意しましょう。
  - ・せんべいの裏面に番号を書いた付箋をつけておきます。



◦ 〈気づいてほしい人権のポイント〉 ◦

- 注意深く愛情をもって観察したり名前をつけたりすることによって、一見同じように見えるものにも特徴(個性)があることに気づくようにすることがねらいです。 (P9-10)
- 自分のせんべいに出会えた(出会えなかった)理由を考え、さらに、ふりかえることによって、多面的な見方が子ども(相手)の理解につながることを期待できます。 (P10-4)

◦ 〈応用・発展〉 ◦

- せんべいのほかにも、ピーナッツ、ジャガイモ、みかん、小石など、身近なものを使うことができます。
- ファシリテーターが、せんべいを混ぜる際、一部のせんべいを裏返して(番号の付箋を反対面に付け替える)置くと、見えにくい部分を見ることの大切さに気づくアクティビティに発展させることができます。

例1 他に使えるものは…



例2 せんべいを裏返しに…



**「ちびまる子ちゃん」で  
40分～60分**

**こんな場面で使えます**

日常生活の出来事をテーマにした「ちびまる子ちゃん」などの視聴覚教材には、誰もが共感をもちやすく、豊かな人間性や人権意識を身に付けるためのヒントがかかれています。

**展開の仕方は？**



- あらかじめ、話し合えるグループごとに座ります。
- ファシリテーターは、事前に試写をして視聴のポイントや話合いの観点を参加者に示します。



- 映画を視聴します。
- ※公の場で映写するには、教育委員会所有のビデオ、フィルム等を借用ください。
- ※16ミリフィルムを映写するには資格が必要です。



- ワークシートに、自分の感想や考えを書きます。
- 人を思いやる心や個性を認め合うことなど、豊かな人間性を育てることについてふりかえるようにします。



- グループの中で、個人がふりかえた内容について発表し、共有化します。
- ファシリテーターは、時間配分を考慮して、話合いの時間が確保できるようにします。

※さくらプロダクション「ちびまる子ちゃん」のイラストについては、使用許可をいただいています。

事前の準備は？

- 視聴覚教材  
(ビデオ、16ミリフィルム等)
- ビデオデッキ、映写機
- スクリーン
- ワークシート
- 筆記用具



ワークシート例(小学生対象の映画会)

- 1 映画を観て感動したところは？
- 2 自分の生活に生かしたいことは？
- 3 登場人物○○さんへお手紙を書こう。



◦ 〈気づいてほしい人権のポイント〉 ◦

- 人権啓発映画は人権問題に焦点をあてたものですが、一般の視聴覚教材にも人を思いやる心や個性を認め合うことなど、豊かな人間性を育てることについて考えるヒントがあります。人のぬくもりや優しさ、生きることのすばらしさを具体的な場面をとおして考えることができます。
- 視聴後に、短い時間でもグループで話し合いをすることによって、相互のコミュニケーションや個人の意見を認め合うことの大切さに気づかせることができます。  
(P9-10、P10-1)

◦ 〈応用・発展〉 ◦

16ミリフィルム・ビデオテープ、映写機材(16ミリ映写機・ビデオプロジェクター・スクリーン)等の貸し出しをしています。

まずは、最寄りの市町生涯学習課または、下記まで電話でお尋ねください。

- 栃木県視聴覚ライブラリー TEL 028(665)7207
- 県立足利図書館 TEL 0284(41)8881
- 河内教育事務所 TEL 028(626)3183
- 上都賀教育事務所 TEL 0289(62)7167
- 芳賀教育事務所 TEL 0285(82)3324
- 下都賀教育事務所 TEL 0282(23)3422
- 塩谷教育事務所 TEL 0287(43)0176
- 那須教育事務所 TEL 0287(23)2177
- 南那須教育事務所 TEL 0287(82)2909
- 安足教育事務所 TEL 0283(23)1471
- 県教委総務課人権教育室 TEL 028(623)3363
- 県人権施策推進課 TEL 028(623)3024



※著作権法上、家庭のテレビで録画したものやレンタルビデオ等は、公の場での視聴はできません。

# コミュニケーションふりかえりクラブ 20分～30分

## こんな場面で使えます

☞中心となる活動の中で、どのようなコミュニケーションをとったかを思い起こします。温かい言動が、良い人間関係をつくるために大切であることに気づかせます。

### 展開の仕方は？



- グループ内で本日の中心となる活動について感想を話し合います。
- 活動中において、ほかの人とのかかわりの中で、うれしかったこと、励まされたこと、安心したこと、などに注目してもらいます。(特にプラス面を中心に)



- ファシリテーターは、ワークシートを配付し、参加者にふりかえりグラフを記入してもらいます。
  - ①自分の気持ちを曲線で表します。
  - ②グラフが上がったところについて、うれしかったことなどを言葉で書き込みます。



- グループ内でグラフ(ワークシート)を見せ合いながら、活動中の参加者同士のコミュニケーションをとおしてうれしかったことなど、グラフが上がったところについて説明し合います。



- 今日の活動の中での人とのかかわりについてふりかえり、感想やこれから自分にとって生かせることについて発表し合います。

事前の準備は？  
○ワークシート ○筆記用具

「コミュニケーションふりかえりグラフ」(クッキーづくり) ワークシート  
平成〇〇年 X 月 △ 日

◎クッキーづくりをしているときの自分の気持ちの変化を、最高を100点として、作業手順にそってグラフに書いてみましょう。

■気づいたこと・感想  
おのきみとしろみがかうまく分けられなかったとき、友だちが助けてくれてうれしかった。  
みんなで協力しながら作業を進めるのは楽しい。わたしも他人のお役にたてることもある！



◦ 〈気づいてほしい人権のポイント〉 ◦

- 活動をふりかえり、人とのかかわりの中でグラフが上昇したところの心の変化を見つめ直しながら、温かい言動が良い人間関係をつくるために大切であることに気づいてもらうことがねらいです。
- 共同作業をとおして、他者とかかわる喜びや協力し合うことの大切さ、互いを認め合うことのすばらしさを感じることは共に生きる社会づくりへの第一歩になります。(P9-9,15)

◦ 〈応用・発展〉 ◦

- グラフを描く場合の期間を、「一週間単位」、「年単位」、「生まれてからこれまで」に変えてみることで、これまでの人とのかかわり方をふりかえることができます。

